



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 ブランディングテクノロジー株式会社  
 コード番号 7067 URL <https://www.branding-t.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木村 裕紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 松原 祐輔  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (説明動画を配信)

上場取引所 東  
 TEL 03-6455-3117

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,588	10.5	81		80		65	
2021年3月期第3四半期	3,248	15.0	95		96		22	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 66百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 22百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	40.92	40.56
2021年3月期第3四半期	14.11	

(注) 2021年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,329	1,121	48.0
2021年3月期	2,323	1,052	45.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,117百万円 2021年3月期 1,049百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	0.0	90		88		66		41.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7'2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	1,619,600 株	2021年3月期	1,615,800 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	25,745 株	2021年3月期	25,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	1,591,133 株	2021年3月期3Q	1,595,158 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ'1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (経営成績の状況)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み外出規制の緩和も進んだことから、社会経済活動の回復に向けた動きが広がりました。しかし、オミクロン株の流行により、先行きは不透明な状況が続いています。企業活動は、デジタル投資を推進する動きが活性化しております。当社グループにおいては、新規顧客の獲得効率を高めるために、オンラインによるマーケティングと営業活動の強化を行ってまいりました。11月には、コロナ禍における中小・地方企業様のデジタルシフトによる業績成長を支援する「ブランディングバンク」をリリースし、新たな競争優位性を確立するための準備を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,588,982千円（前年同期比10.5%増）、営業利益81,126千円（前年同期は営業損失95,160千円）、経常利益は80,336千円（前年同期は経常損失96,503千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65,111千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失22,511千円）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ブランド事業

当該事業におきましては、「ブランドファースト」の考え方を反映した独自フレームワークを軸に、中堅・中小企業様が抱える収益拡大課題、人材及び育成課題に対して、顧客の”らしさ”を明確にし、顧客の競合差別化及び顧客とのコミュニケーションデザインに基づき、オウンドメディア構築運用及び経営サポートサービス、コンテンツマーケティングサービス、歯科経営コンサルティングサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、業界別に成功ノウハウを体系化し、ウェビナーを中心に新規顧客向け情報発信を強化してまいりました。得意とする医療、建築、不動産の3業界は新規顧客の獲得数は堅調に推移しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,079,780千円（前年同期比13.5%増）、セグメント利益は245,544千円（前年同期比28.5%増）となりました。

#### ② デジタルマーケティング事業

当該事業におきましては、中堅・中小企業様向けにデジタル領域における総合マーケティング支援を展開しております。専門特化したマーケティングの責任者がおらず、ノウハウがない中堅・中小企業様に対して、当社で抱えているコンサルタント人材が、上流のマーケティングフレームワークを理解したうえで、現状分析、戦略立案・実行、効果測定までワンストップで提供出来ることを強みとしております。プロモーション戦略を立案し、各種インターネット広告を活用することによって、サイトのアクセス数を増加させるとともに、サイトのレポートを通じて課題を明らかにし、改善を行うことで、中堅・中小企業様の収益機会の拡大に貢献してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、企業のマーケティング予算は、テレビや紙媒体などの広告予算からデジタル施策に流れる動きが加速しております。新規顧客の中でも、デジタル投資ニーズが拡大する中堅、大手企業との取引拡大を進め、セグメント売上高、利益の拡大に繋げてまいりました。また、コロナ禍の影響により広告予算が減少していた既存顧客からの売上高、利益は回復傾向にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,399,154千円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は153,117千円（前年同期比107.1%増）となりました。

#### ③ オフショア関連事業

当該事業におきましては、ベトナム、沖縄を中心にオフショア及びニアショア体制を強化することによって、ブランド事業及びデジタルマーケティング事業に対して、高品質なサービスをより安価で提供することを実現しております。また、当該体制で培ったノウハウを、現地で同等の品質でサービス提供することにより、アジアに事業所を持つ日系企業や現地企業におけるオウンドメディアの構築や、デジタル領域における総合マーケティング支援を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、沖縄に貢献するための社会貢献活動を継続的に行っております。その結果、沖縄県内の有力企業との取引を拡大してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は110,047千円（前年同期比49.8%増）、セグメント利益は21,261千円（前年同期比379.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産2,329,304千円となり、前連結会計年度末と比較して5,349千円増加しております。負債合計は1,208,036千円となり、前連結会計年度末と比較して63,102千円減少しております。純資産は1,121,267千円となり、前連結会計年度末と比較して68,452千円増加しております。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ18,522千円増加し、2,114,925千円となりました。これは受取手形及び売掛金が112,129千円増加した一方で、現金及び預金が59,752千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ13,172千円減少し、214,378千円となりました。これは有形固定資産が7,755千円、無形固定資産が1,154千円、投資その他の資産が4,262千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ35,215千円増加し、844,915千円となりました。これは買掛金が58,618千円増加した一方で、賞与引当金が15,774千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ98,317千円減少し、363,120千円となりました。これは固定負債の長期借入金が98,323千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ68,452千円増加し、1,121,267千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を65,111千円計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細については、本日公表いたしました「2022年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,529,072	1,469,319
受取手形及び売掛金	446,652	558,782
仕掛品	20,194	18,117
前払費用	85,822	58,956
その他	18,392	12,994
貸倒引当金	△3,731	△3,244
流動資産合計	2,096,403	2,114,925
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	51,760	44,004
有形固定資産合計	51,760	44,004
無形固定資産		
その他	14,955	13,801
無形固定資産合計	14,955	13,801
投資その他の資産		
その他	171,071	166,454
貸倒引当金	△10,235	△9,881
投資その他の資産合計	160,835	156,573
固定資産合計	227,551	214,378
資産合計	2,323,954	2,329,304
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	299,803	358,421
1年内返済予定の長期借入金	133,333	133,333
未払法人税等	8,593	6,560
賞与引当金	47,017	31,242
その他	320,953	315,358
流動負債合計	809,700	844,915
固定負債		
長期借入金	356,677	258,354
長期預り保証金	101,500	101,500
その他	3,261	3,266
固定負債合計	461,438	363,120
負債合計	1,271,139	1,208,036
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	157,769	50,800
資本剰余金	154,430	263,000
利益剰余金	760,624	825,735
自己株式	△26,703	△26,703
株主資本合計	1,046,121	1,112,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	-
為替換算調整勘定	2,847	4,343
その他の包括利益累計額合計	3,435	4,343
新株予約権	74	74
非支配株主持分	3,183	4,015
純資産合計	1,052,815	1,121,267
負債純資産合計	2,323,954	2,329,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	3,248,626	3,588,982
売上原価	2,517,673	2,721,456
売上総利益	730,952	867,525
販売費及び一般管理費	826,113	786,399
営業利益又は営業損失(△)	△95,160	81,126
営業外収益		
受取利息	16	95
受取配当金	4	2
受取手数料	132	-
助成金収入	2,191	3,602
受取補償金	1,044	1,431
その他	1,060	197
営業外収益合計	4,450	5,328
営業外費用		
支払利息	2,149	2,240
持分法による投資損失	1,251	1,362
出資金評価損	-	1,554
為替差損	2,058	772
その他	334	188
営業外費用合計	5,793	6,118
経常利益又は経常損失(△)	△96,503	80,336
特別利益		
投資有価証券売却益	-	947
有形固定資産売却益	-	2,304
事業譲渡益	92,145	-
特別利益合計	92,145	3,252
特別損失		
固定資産除却損	3,067	-
特別損失合計	3,067	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,425	83,589
法人税、住民税及び事業税	7,950	18,287
法人税等調整額	6,636	△641
法人税等合計	14,586	17,646
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,012	65,943
非支配株主に帰属する四半期純利益	499	831
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,511	65,111

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,012	65,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	359	△588
為替換算調整勘定	△1,215	1,495
その他の包括利益合計	△855	907
四半期包括利益	△22,867	66,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,366	66,019
非支配株主に係る四半期包括利益	499	831



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2021年7月28日に無償減資を行いました。この無償減資等の結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が106,969千円減少し、資本剰余金が108,570千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は50,800千円、資本剰余金は263,000千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

当社は2021年4月1日より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を適用しております。収益は、顧客との契約で明確にされている対価に基づき、変動対価及び顧客に支払われる対価を考慮して測定し、製品に対する支配が顧客に移転した時点で認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

当社グループでは、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについて、新型コロナウイルス感染症の当社グループへの重大な影響は発生していないものの、感染拡大の影響が長期化した場合には、一定程度の事業リスクが存在するとの仮定のもと、当第3四半期連結会計期間の末日現在で入手可能な情報に基づき会計処理を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	951,531	2,223,629	73,465	3,248,626	-	3,248,626
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,615	-	118,918	132,533	△132,533	-
計	965,147	2,223,629	192,383	3,381,159	△132,533	3,248,626
セグメント利益	191,157	73,918	4,432	269,509	△364,669	△95,160

(注) 1. セグメント利益の調整額△364,669千円には、セグメント間取引消去△3,401千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△361,268千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,079,780	2,399,154	110,047	3,588,982	-	3,588,982
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,691	-	113,995	144,687	△144,687	-
計	1,110,471	2,399,154	224,043	3,733,670	△144,687	3,588,982
セグメント利益	245,544	153,117	21,261	419,923	△338,797	81,126

(注) 1. セグメント利益の調整額△338,797千円には、セグメント間取引消去532千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△339,329千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。